

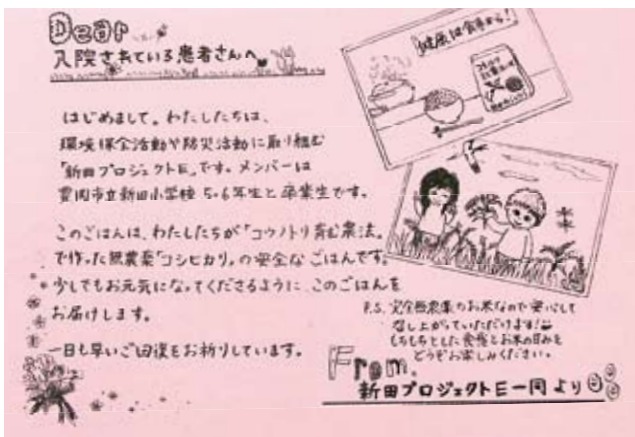
ほすびたる

組合立病院 ◇公立豊岡病院◇公立日高医療センター◇公立出石医療センター◇公立朝来梁瀬医療センター◇公立朝来和田山医療センター



新田小の プロジェクトEから 無農薬栽培米を 豊岡病院入院患者へ

▲ 無農薬栽培米を届けに来院したプロジェクトEのみなさんと病院職員



▲ 回復を願って入院患者様へメッセージをいただきました

豊岡病院では、去る三月二十五日に豊岡市立新田小学校の五、六年生と卒業生で作る「新田プロジェクトE」のみなさんから、コウノトリ育む農法で作った無農薬栽培のコシヒカリ九十キロの贈呈を受けました。いただいたお米は、直ぐに入院中の患者様に召し上がっていただきました。

入院患者様からは、「モチモチして美味しかった」「もっと食べた」など喜びの声をいただきました。（入院患者様からのメッセージは次ページ）

公立豊岡病院組合

新管理者就任のごあいさつ



公立豊岡病院組合
管理者
あおき としひこ
青木 俊彦

このたび豊岡市、朝来市の両市長の命により、本年四月一日付で公立豊岡病院組合の管理者に就任いたしました。

公立豊岡病院組合は、①地域住民の健康な生活を支える中心的役割を果たすとともに、他の関係機関との適切な機能分担と密接な連携を通じて、地域の保健医療福祉の向上に貢献すること②自治体病院としての使命に情熱を燃やす職員集団を形成し、顧客の満足度を重視した良質で効率的な医療サービスの提供を図ることの二つを経営理念としています。

但馬地域での医師の確保が非常に厳しい状況にあることや国の総医療費抑制策による病院収入の減少など

の影響から、医療サービスの低下、経営悪化など、組合立病院を取り巻く環境は、かつてない厳しい状況にあります。管理職としてこの二つの経営理念実現のため最大限の努力を払う所存です。

公立豊岡病院組合は、公立豊岡病院、公立豊岡病院日高医療センター、公立豊岡病院出石医療センター、公立朝来梁瀬医療センター、公立朝来和田山医療センターの五病院が機能分担と連携を通じて但馬地域の中核的な医療機関として皆様と共に歩んでまいりますので、今後ともご支援とご協力をよろしくお願ひします。

〈職歴〉

- 1975年 兵庫県庁入庁
- 1995年 総務部地方課 副課長
- 1999年 病院局 経営課長
- 2002年 病院局 企画課長
- 2003年 企業庁 総務課長
- 2005年 淡路県民局 副局長
- 2007年 病院局長

コウノトリ米を食べた感想



私にも六年生の孫がいます。可愛い孫の顔を思い出しながら、無農薬という事で美味しくいただきました。

(七七歳 女性)

すっごく甘くておいしいです！フワフワして最高でした☆家で食べるのはゴワゴワしてるなと感じました。また食べたいです。

(一六歳 女性)

五十数年前、私も小学生時代、稲作をした事があります。思い出しました。お米は口に入るまで多くの工程(努力)があると同時に、最近では機械も多く使われます。汗と労力の多くがかかったお米、ありがとう、早くよくなって子供達のためになりたいと思います、ありがとう。

(六三歳 女性)

皆さんが一生涯命作ったお米、おいしく頂きました。一つが一つに愛情あふれて、久しぶりにおいしいご飯を頂きました。このご飯で少し元気になった気がします。早く元気になって退院できるよう頑張ってください。おいしいご飯をありがとう！

(三八歳 男性)

和田山医療センターからお知らせ

小児科診療開始について

平成21年5月7日【木】
から診療を開始します

担当医：田中良直
受付時間：午後1時～4時
診察日：毎週火曜日、木曜日





院内
インタビュー
INTERVIEW

— 第8回 —

院内インタビュー第八回目は、

公立豊岡病院出石医療センターの西岡顕先生に出石町での生活や誤嚥性肺炎という病気についてお話をうかがいました。

誤嚥性肺炎については、先生の専門というわけではないようですが、特に高齢者の入院が多い出石医療センターでは、病院全体として、医師だけでなく、看護師や栄養士などのチームワークでこの問題に取り組んでいるそうです。

—西岡先生のご出身は？どちらで少年時代をお過ごしになったんでしょうか？

●僕が生まれたのは加古川なんです。が、幼少期は神戸の舞子というところで育ちました。

—但馬に来られたのはいつごろですか？

●二十四歳の時に大学を卒業しました。それから二年間は県立尼崎病院で、いわゆる初期研修をしまして、それが終わってから八鹿病院に勤務したのが但馬との始まりですね。

—この出石に住まれてもうどうですか？

●二十年ちょっとになりましたね。—出石の方々、周りの方々とはどうですか？もちろん先生を必要となさっているのではと思いますが。

●そうですね。病院で患者さんから

「先生、先生」と言われる立場もあります。でも、僕の場合は、出石の寺区という地域に住んでるんですが、その区の人達から温かく迎えてもらってるんで、区の行事、総会やだんじり、清掃除や色んな会の仕事にも参加させてもらっています。特にだんじりは、当直などよっぽどのことがない限りは毎年のように担いでいます。実際には僕に気を遣って、当直をはずしてくれているんですけどね。

—地元の皆さん、先生を必要となさっているようですが、先生は今後も但馬、出石にずっといるようにしていただけるんでしょうか。

●皆さんに温かく迎えていただいているというのは、もちろん有り難いことで、それにお応えしようという思いで出石だけでも二十年になりました。個人的な話ですが、母親が脳梗塞を患っていて、しかも長男なんのでいつかは帰らないといけないかなとは思っています。皆さんもご存じのとおり、一昨年、但馬の医療再編ということで、出石病院を無床診療所にしよつという動きがありました。その住民説明会の場で、住民の方々

から出石病院を存続させて欲しいという声が大きく、そういった住民の方々の気持ちがあるから、今の僕があると思っています。また、僕を支えてくれている他の先生方やスタッフの方々がいるので診療を続けられていると思っています。

—次は出石医療センターで取り組まれている医療についてお願いします。

●我々は出石町と但東町合わせて二万弱の人口を主に対象としています。その中でよく見られるような病気、ちょっとした怪我を対象としています。診察してこれ以上自分たちが介入するのが深入りだな、手を出すべきでないなという方々は豊岡病院や八鹿病院に紹介しています。

—今日は誤嚥性肺炎について聞かせていただけのことなんですが。

●そうですね。当センター全体でこの問題に取り組んでるんです。肺炎というのは、日本人の死亡原因の第四位で特に高齢者の方に多いです。その中でも障害を持った方というのは肺炎のために亡くなられることが一番多いんです。そのかなりの部分が誤嚥性肺炎で我々はこの病気に取り組んでいるわけなんです。

—誤嚥ってというのはどういうものですか？

●誤燕というのは、物を飲み込む、その時に間違つて気管の中に入ってしまったことをいいます。

—時々むせちゃったりして、気管に入ったとかいいますね。

●それですね。大抵が分かかってむせる場合が多いんですけども、これを顕性誤燕せいえんと言います。お年寄りの中には、間違つて入っているのが分からない、そういう誤燕の仕方もある、これを不顕性誤燕と言います。そういった誤燕の場合は、食べ物とか飲み物だけじゃなくて、口の中の雑菌が混ざって肺の中に入るわけです。その雑菌が肺炎を起こす、それが怖いわけです。

—お正月のニュースで、お年寄りがお餅を喉に詰めたとか、昨年ですとこんにゃくゼリーが喉に詰まったとか、これも関係があるんですか。

●お年寄りになると燕下えんげ、つまり物を飲み込むという働きが少しずつ落ちてきます。それとまた、気管の中に入ったらゴホツと思いつきり咳をすることで、吐き出すことが出来るわけですが、その咳をする反射も弱くなってくるため、入り易く出にくい、それで誤燕性肺炎を起こしやすくなります。もちろん、今のお話しは

窒息の話ですけども、窒息と関係が密接になる場合があります。

—誤燕性肺炎にはどういう症状があるんですか？

●この病気は、脳梗塞や脳出血の後遺症の方や、パーキンソン病の方、寝たきりの方に多く、思わぬ高熱に介護者が気付くという場合が多いです。それ以外には、咳をするとか、痰で喉がゴロゴロしているとか、息苦しそうにしているとかですね。

—食事はちゃんと取れるんですか。

●そういう方は、食欲が低下している場合が多いです。

—検査をするところ、どこに異常が出てくるんですか。

●肺炎ですから、胸のレントゲンとかCTを撮ると胸に陰影が見つかります。飲み込んだ物は、重力に従って低い所に行くため、寝たきりの方だったら、肺の背中側の方に影が出るというのが特徴です。それ以外には、血液検査で白血球が増えるとか、CRPなど炎症反応が陽性になるというのが肺炎に見られる所見です。

—出石医療センターでは予防として口腔ケアというのに、力を入れているみたい

ですがこれはどういった取り組みなんですか。

●もちろん薬を使った治療も行っていますが、特に力を入れているのは口腔ケアという取り組みです。こういった方々は、口の中の物が気管に入ると肺炎を起こすため、まずは口の中をきれいにしておこうということですね。それから口の周りやほっぺたからほぐしていき、おたふく風邪で有名な耳下腺じかせんや顎がくの下顎下腺がくかせんをマッサージします。それから番茶で湿らせたガーゼで口の中、歯ぐきや舌もみんな拭くんです。歯のある人や無い人、無いと言っても入れ歯のある人、口の中を見たらいろいろな物が付着してあります。特に汚い苔が生えた方がおられます。そういう人や口の中が湿っている人、乾燥している人、このあたりを見ながら口腔ケアをしています。

—へえ、口の中に苔が生えてるんですか。

●はい、そうですね。もう一つ特に力を入れてしているのが唐辛子スプレーです。唐辛子が気管に入るとよくむせますよね。それで、唐辛子から抽出したカプサイシンというエキスをスプレーで最後の仕上げにシュツと与えるんです。実はそのカ

プサイシンをスプレーすると、咳とか燕下の反射を誘発するようになるんです。この取り組みは昨年末、うちの摂食燕下チームの看護師さんが学会で発表されて結構注目を浴びたんですよ。

—リハビリとかもあるんですか。

●はい。物を飲み込むためのリハビリも必要になってきます。顎やほっぺ、口、舌の運動をリハビリとしてするわけです。例えば、唇の運動では、しっかりと閉じる訓練として「たっ たっ たっ」「ら、ら、ら」という、舌先が上顎の所に当たる時の発音や、舌根が上顎の方に近づく「かつ、かつ、かつ」。こういう訓練をします。

—こういう口腔ケアのやり方を、家族の方に指導したりもしています。入院している間だけ出来て、家に帰ったら、何も出来ないということではダメなんで。

—最後に市民の皆様へのメッセージをお願いします。

●今回ご紹介したような誤燕性肺炎に対する取り組みを通して、この地で住民の方に役に立つような仕事をさせていたきたいと思っています。—どうもありがとうございます。

八条小学校児童が 病院見学に行ってきました！



▲ 医師に説明を受ける児童たち

去る二月十七日（火）に、豊岡市立八条小学校六年生の児童が豊岡病院へ病院見学に行ってきました。

元気いっぱいの子供達を迎えたのは、豊岡病院で研修中の、田中真美医師と下敷領美保医師、山根悠医師でした。病院では、病院施設の見学や診察体験をしました。

病院見学を終えて…

病院見学後の感想文をご紹介します。

豊岡病院を職場訪問して

豊岡市立八条小学校六年

脇 愛子さん

私は、医療関係の仕事に関心を持っていたので、豊岡病院に職場訪問に行きました。病院の見学と言うことなので緊張していましたが病院の方々がとても優しく、そして楽しく話しを進めてくださったので、いろいろな話を聞くことができました。

最初に、病院の先生に話を聞かせていただきました。レントゲン写真を見せてもらったり、聴診器を使わせてもらったりしました。レントゲン写真を見た時は、クイズ感覚で説明してくださり楽しく話しが聞けました。聴診器では、自分の心臓の音や、人の声を聞いたりしました。

その後、病院内を見学しました。



▲ 口の中を診察する様子

その中で一番印象深いのは、人の本物の臓器を見せてもらったことです。臓器は、何等分かにスライスされていて、腐らないように液につけてありました。棚にたくさん臓器が保存されていて、その内の二つほどを取り出して見せていただきました。人の臓器なんて、めったに見られるものではないので、とても貴重な体験ができてよかったです。

私達のために、病院の方々がわざわざ時間を空けてくださり、大変よい体験ができました。この体験を忘れずに、これからの生活につなげられたらいいと思いました。

異動医師

総 豊岡病院 兼 内科 加藤知恵子（豊岡病院）
内 日高医療センターへ

総 豊岡病院 兼 内科 高部 倫敬（豊岡病院）
内 出石医療センターへ

退職医師

・豊岡病院	泌尿器科	医長	高橋 毅	・豊岡病院	心臓血管外科	医長	日置 巖雄
・豊岡病院	外科	医長	村田 徹	・豊岡病院	脳神経外科	医長	太田 耕平
・豊岡病院	外科	医員	隅田 仁	・豊岡病院	総合診療科	医員	坂本昇太郎
・日高医療センター	内科	医員	池上 宏美	・出石医療センター	内科	医員	阿江 竜介
・和田山医療センター	整形外科	医員	須田 誠	・和田山医療センター	整形外科	医員	岩佐賢二郎
・豊岡病院	精神科		山本はるか	・豊岡病院	精神科		高木 賢一
・豊岡病院	皮膚科		横田 日高	・豊岡病院	泌尿器科		岡所 広祐
・豊岡病院	循環器科		破磯川 実	・豊岡病院	脳神経外科		溝脇 卓
・豊岡病院	耳鼻咽喉科		宮崎 拓也				

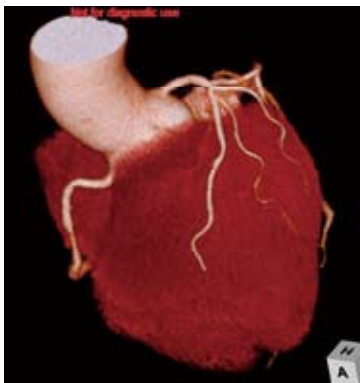
豊岡病院に最新鋭の 64列CTを導入しました!



▲ 胸腹部の骨と血管の画像

今年三月に導入された最新型の六四列マルチスライスCTでは、一秒間に三回転ほどの高速回転により、拍動のため、常に

豊岡病院では三台のマルチスライスCT（コンピューター断層撮影装置）を保有しています。このマルチスライスCTの特徴は、従来のCTに比べ、短時間で多くの断面画像を撮影します。豊岡病院の装置は、最小0.5mmの厚みで人体を輪切りに撮影できます。この画像をコンピュータ処理し、人体を三次元で立体的に表示することも可能です。たとえば全身の血管や、骨を三次元で写し出すことで、より詳しい情報をえることができます。



▲ 心臓の画像



▲ 新しく導入した64列CT

動いている心臓などの画像も短時間にしてきれいに撮影することが出来るようになりました。今後ますますCTの用途は伸び続けることでしょう。



医師の異動のお知らせ

H21.2.1~H21.4.1

順不同

新任医師



豊岡 麻酔科
院長代理 曲瀧 達雄



梁瀬 内科
部長 中村 智樹



豊岡 心臓血管外科
部長 矢田 真希



豊岡 総合診療科
医長 水田 憲利



豊岡 総合診療科
医員 下敷領美保



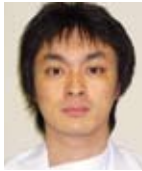
豊岡 外科
医員 烏口 寛



豊岡 精神科
医員 許沢 知代



豊岡 整形外科
医員 谷口 直矢



和田山 整形外科
医員 無藤 智之



豊岡 精神科
部長 吉岡 隆一



豊岡 泌尿器科
医長 高尾 典恭



豊岡 循環器科
医長 中村 浩彰



豊岡 総合診療科
医長 中村 幸子



豊岡 総合診療科
医員 白石 順



豊岡 脳神経外科
医員 石井 大嗣



豊岡 小児科
医員 前納 万里



和田山 整形外科
医員 藤井 貴

【豊岡病院総合診療部】 (組合外病院勤務の者)

八鹿病院総合診療科
医長 寺下 聡

八鹿病院総合診療科
医員 八幡 晋輔